**国際コンテナ戦略港湾（京浜港、阪神港）における**

**国際基幹航路とフィーダー航路の積替実証輸送**

**応募様式**

|  |  |
| --- | --- |
| 企業・団体名 |  |
| 所在地 |  |
| 担当者名 |  |
| 連絡先 | 所属：電話番号：E-mail： |

※共同で応募する場合は、必要に応じて適宜記入欄を追加して下さい。その際には、応募主体となる代表企業・団体を最初に記載して下さい。

１．実施時期

　（例）2023年12月～2024年1月

２．輸送する貨物及び輸送ルート

輸送予定の貨物の種類及び輸送ルートについて記載して下さい。日本の積み替え港は港名に加えてコンテナターミナル名を記載して下さい。従来の輸送ルートから日本積み替えの輸送ルートに変更する場合は、従来の輸送ルートについても記載して下さい。

（例）これまで、A港→B港（トランシップ港）→C港→D市の工場に運んでいた機械部品について、A港→横浜港南本牧コンテナターミナル（トランシップ港）→E港→D市のルートで輸送予定。

３．輸送数量

　総輸送量及び輸送頻度について記載して下さい。

（例）総輸送量：○○TEU

　　　　輸送頻度：○○TEU/週、○○TEUを○回

４．輸送を担当する物流事業者、船社等

実際に輸送を実施する物流事業者、船社等について記載して下さい。

※調整中、今後調整予定などの場合は、その旨記載して下さい。

５．実証輸送に応募する理由

実証輸送に応募する理由、解決したい課題等について記載して下さい。

（例）・海上コンテナ物流混乱を踏まえ、輸送ルートの多様化が社内で課題となっており、これまでの釜山港等でのトランシップに加えて、日本トランシップのルートでも輸送することを検討している。この実証輸送を活用して実際に日本経由の輸送を試行し、貨物の積み替えに関するリードタイムや手続き等を検証したいと考えている。実証の結果、問題がないと判断された場合には、日本経由の貨物量を増やしたいと考えている。

・輸送においてリードタイムを特に重視しており、日本を経由することでリードタイムを削減できる可能性があることから、コストや手続き、輸送品質等を含めて実現性や持続可能性を検証するため、実証輸送を活用したい。

６．実証輸送で検証したい事項

実証輸送により検証したい事項について記載してください。

　（例）リードタイム、輸送コスト、輸送品質、輸送の際の手続き、

トレーサビリティ

７．特記事項

上記以外に特記すべき事項があれば記載してください。

※調査協力費に係る事項は以下に記載して下さい。リーファーコンテナ輸送やLCL貨物の再混載を行う場合など、ドライコンテナのFCL輸送と比較して輸送費用が高額になることが見込まれる際は、その旨記載して下さい。